

**SLIDE  
FACTORY**

NITZAN HAROZ  
ZOLTAN KISS  
NILS LANGGREN  
NYKKE LAVERMAN  
JAMES MORISSON  
CODARTS SYMPHONY ORCHESTRA  
DE HOUDINI'S  
NIEUW TROMBONE COLLECTIEF  
SLOKAR QUARTET  
SUPER BONES  
WIENER POSAUNEN QUARTET

**EUROPEAN TROMBONE FESTIVAL** 

**APRIL 14-15-16-17-2011 ROTTERDAM - DE DOELEN**

日本語-Japanese

品川隆 Takashi Shinagawa

## スライド・ファクトリー第4弾はサプライズの連続！

2011年4月14日～17日、オランダ・ロッテルダムの街がトロンボーンに染まります。第4回ヨーロッパ・トロンボーン・フェスティバル“スライド・ファクトリー”は、驚きと感動の連続です！千変万化の音楽スタイル、新しい楽器との融合、新しい音楽との出会い、ニュー・トロンボーン・コレクティブと豪華ゲストたちによる世界初演。期間中の数々のコンサートでは、ジェームス・モリソン、ニッツァン・ハロッズ、ユルゲン・ファン・ライエン、ゾルタン・キッス、ニルス・ランドグレン、プラント・アッテマ、ウィーン・トロンボーン・カルテット、スーパー・トロンボーンズ、スローカー・トロンボーン・カルテット、ニンケ・ラーフェルマンら、世界のスーパースターたちがその真骨頂のパフォーマンスを發揮します。

フェスティバル参加者の皆さんは、毎朝開催される有名な奏者によるウォームアップ・セッションに参加し、アーティストたちのレッスンを受講し、野外スペクタクル・コンサートのためのリハーサルと本番に参加して、フェスティバルをつくるミュージシャンにひとりとして活動します。また、数々の感動的なコンサートはもちろんのこと、多くのクリニックでアーティストやグループの考え方・スタイル・歴史・技術・教育論などを学び、おびたしい楽器・マウスピース・楽譜・CD・アクセサリーなどのアイテムが並びマーケットで存分に試奏や閲覧、ショッピングを楽しむこともできます。メインのコンサートでは将来二度とありえない世界一流アーティストたちの饗宴を間近に体感し、熱狂・感動の渦に巻かれることでしょう。夜もスターやファンらと垣根なく、ビールを片手に語り合えることも、海外の、あるいはオープンな気質のオランダでのイベントの魅力と言えるかもしれません。楽器マニア、アイテムマニアと自負する方々も、ぜひ世界のマニアたちと情報交換を楽しんでみては？

## この日本語ページにつきました

このページは、日本から参加を希望・検討される方々の背中をおす意味で、少しでも参加実現の助けになればと思い、作成しました。前回第3回フェスティバル（2009）には総勢22人も日本人参加者を記録し、音大等の学生さん、プロのトロンボーン奏者、音楽プロダクションの社長さん、アマチュアの愛好家の方々、さらには家族旅行を兼ねて一家総出など様々で、みなさんそれぞれ異なる形で滞在され、楽しんで・勉強してお帰りになされました。

海外ということで、費用、言語、治安など不安に思う方も少なくないと思います。ここまで読まれたあなたは、ぜひ有用な情報をご覧になって、参加を前向きに検討してみてくださいはいかがでしょうか。「遠いしなあ・・・。」「相当お金がかかるんだろうなあ・・・。」「英語しゃべれないしなあ・・・。」と何もせずに尻込みをしてしまうには、あまりにももったいないイベントですよ！

何かご不安がある場合、質問やリクエストがある場合は、公式日本語窓口の私・品川隆（しながわたかし）[takashi@slidefactory.nl](mailto:takashi@slidefactory.nl)まで、メールでお気軽にお問い合わせください（携帯電話からでも構いません）。

## 目次 Index

スライド・ファクトリー第4弾はサプライズの連続！（2）
この日本語ページにつきました（2）
目次（2）
スライド・ファクトリー2011プログラム（3-12）
日本から参加される方々のための参加費用の目安（13）
フェスティバル参加費用について（13）
航空券について（13）
オランダ到着～ロッテルダムの移動について（14）
宿泊場所について（14）
食べ物・飲み物などについて（14）
フェスティバル期間前後のコンサートなどの情報（15）
mixiのコミュニティに参加して情報交換！（15）
コンタクト（15）

# スライド・ファクトリー2011 プログラム

4月14日(木) ~ 第1日

## 【オープニング・コンサート】

時間：20:15-22:30

場所：Grote zaal (De Doelen) グローテザール

スライド・ファクトリーのオープニング・コンサートは、あっと驚くスペクタクルになること間違いなしです。世界から集まった最高のトロンボーン奏者たちと、オランダのトップ・シンガー、ニンケ・ラーフェルマンが、ロッテルダム音楽院オーケストラをバックに、フェスティバルの輝かしいオープニングを飾ります。

“お決まり”で、SFのホストであるニュー・トロンボーン・コレクティヴがこのコンサートの先陣を切ります。次いでロッテルダム音楽院オーケストラが室内オーケストラとしてクラシック・トロンボーンのソリストたちのバックアップに加わります。イスラエル人トロンボーン奏者で、ニューヨークで研鑽を積み現在フィラデルフィア管弦楽団・首席トロンボーン奏者を務めるニッツァン・ハロツが、彼の十八番のレパートリーを披露します。また、オランダ勢のユルゲン・ファン・ライエンとブランド・アッテマが、若きタレント、ヴィルベルト・ブルシンの新作を世界初演します。

休憩をはさんで、ニュー・トロンボーン・コレクティヴが、オランダの歌姫、ニンケ・ラーフェルマンとのステージについて少し紹介をします。先ほどのロッテルダム音楽院オーケストラはプロのリズムセクションとニュー・トロンボーン・コレクティヴを伴って、(オランダのメトロポール・オーケストラのような)大型のジャズオーケストラへと変身します。ニンケとジェームス・モリソンのデュエットのあと、ジェームスはトロンボーン、サクソ、トランペットを駆使して超絶に華々しくこのコンサートのトリを飾ります。

コンサート終了後は大ホールのロビーにてアーティストと聴衆がごちゃまぜになって、ビールを片手に第一夜の宴のはじまりです。

### 出演アーティスト

Brandt Attema	trombone
Nitzan Haroz	trombone
Nynke Laverman	world music singer
James Morrison	trombone
Jörgen van Rijen	trombone
Codarts Symphony Orchestra	



**4月15日（金）～第2日**

### 【ウォーミング・アップ】

時間： 09:00-10:00

場所： Foyer Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザールのロビー

フェスティバルの全参加者は、ヨナス・ビルントによるヨガと楽器演奏の組み合わせに重点をおいたウォームアップ・セッションに参加して、第2日をスタートします。気持ちよくリラックスして、スライド・ファクトリーの一日を過ごしましょう。この日、女性はスカートや過度なローライズのパンツで来場されないほうが賢明ですよ（笑）。



### 【旋風！若きタレントたちによるコンサート】

時間： 10:00-11:00

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザール

国際的に権威ある3つのトロンボーン・クラスとそれぞれの教授たちが、フェスティバルに先立って週のはじめからロッテルダムに集結して、もくもくとレッスン、マスタークラス、アンサンブル、フェスティバルの準備に忙しくしています。

ダヴィッド・ブルシェ率いるチューリッヒ（スイス）のクラス、ヨナス・ビルント率いるハノーファー（ドイツ）のクラス、ピエール・フォルダース、ユルゲン・ファン・ライエン、ベン・ファン・ダイク率いるロッテルダムのクラスが、担当教授を相互に交代しながらコーチングを受け、さらにニッツァン・ハロツズの指導を受けます。その実りある収穫のすべてを、みなさんはこのコンサートで目の当たりにすることでしょう。各クラスはそれぞれ単独で出演し、また合同での取り組みにも挑戦します。情熱に満ちたトップ・ホープたちがヨーロッパ中から集まり、ひとつのステージに立ちます！



出演アーティスト

Trombone Classes from Zürich, Hannover and Rotterdam

### 【クリニック：ヨナス・ビルント】

時間： 11:00-12:00

場所： Van Cappellen zaal (De Doelen) ファンカペレンザール

ミュンヘンをはじめ過去の国際コンクールで数々の優勝・入賞を果たし、ベルリン・フィルを経て現在ハノーファー音楽大学（ドイツ）で教鞭をとるヨナス・ビルントのマスタークラスです。彼の教え子には2007年のミュンヘン国際コンクールで第2位に輝いた南西ドイツ放送交響楽団のフレデリック・ベッリをはじめ、ドレスデン国立歌劇場、ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団などドイツの名門オーケストラやヨーロッパ各地の一流オーケストラに所属する優秀なプレーヤーたち・ソリストたちがたくさんいます。このクリニックがどんなテーマで行われるかは未定ですが、全てのトロンボーン学生や教育家にとって必見になることは間違いなしです。





## 【ランチ・コンサート：スローカー・カルテット】

時間： 13:00-14:00

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザール

今回のスライド・ファクトリーには、3つの世界を代表するトロンボーン・カルテットが登場します。このラインナップでは、スローカー・カルテットは欠かすことのできない存在です。このグループはブラニミール・スローカー、ジョルジュ・ジヴィチャーン、ヴァシル・クリストフ、アルミン・バッハマンの4人で構成されていて、非常に広いレパートリーを誇っています。彼らの演奏活動の多様さとその芸術的なアンサンブルは、世界中の多くのトロンボーン・カルテットに刺激を与えてきました。



出演アーティスト

Slokar Quartet: Branimir Slokar, György Gyivicsan, Wassil Christov, Armin Bachmann

## 【フェスティバル・マーケット】

時間： 14:00-17:30

場所： Foyer Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザールのロビー

数多くのブランドや組織が、このフェスティバルのためにその楽器や製品を持ち寄り、展示します。各ブースにはその企業の社員がついていて、商品のスペシャリストや製造者としていつでもあなたの質問や要望にこたえられるようスタンバイしています。タイン兄弟やコルトワをはじめ、ドイツ管を含めた多くのヨーロッパの楽器ブランドのスタッフや楽譜屋さんと直接お話しをするチャンス！最新の楽器モデルの試奏（いつものことですが、みんなロビーでガンガン吹きまくり！）、アクセサリー、テクノロジー、新譜など、最先端のモノに触れるチャンスです！

## 【クリニック：スローカー】

時間： 14:30-15:30

場所： Van Cappellen zaal (De Doelen) ファンカペレンザール

ランチ・コンサートの直後に、みなさんはスローカー・カルテットの重鎮、そしてトロンボーン・ソリストのパイオニア、名教授としてブラニミール・スローカー氏に直接会ってお話ができます。スライド・ファクトリーは彼の四重奏団にその経験の数々と「一緒に演奏するということ」についての見解を紹介するようお願いし、フェスティバル参加者のみなさんにその世界を共有していただきます。ご自身でカルテットなどアンサンブルを組んで活動されているっしやる参加者のみなさんには、さらに興味深い時間になることでしょう。



## 【2人の“怪人”たち】

時間： 16:00-17:00

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザール

オランダのクーン・カプタインとアメリカのデイヴ・テイラーはともに、ユニークな音楽スタイルを持つ感性豊かなミュージシャンです。トロンボーンを手に、トロンボーンの域を超越したものを見据えながら、それぞれ独自のレパートリーを確立してきました。デイヴ・テイ



ラーはスタジオ・ミュージシャン、ビッグバンド・プレーヤーとしての偉大な功績の数々が知られているだけではなく、D.シュニーターをはじめとした多くの作曲家たちを刺激して、バストロンボーンのための作品を生みだしてきました。クーン・カプティンは自身が作曲家でもあり、異質な音楽、陽のあたらない忘れられし作品やお蔵入り・追放されてしまった作品、斬新な作品、または様々な理由で人々が敬遠してきた作品などに対して常に目を光らせています。このクレイジーなクーンとデイヴの“流儀”を、リサイタルと一緒に詰め込んでしまいます。トロンボーン界の二人の偉大な“冒険家たち”の時間をお楽しみください！

---

### 【クリニック：作曲】

時間： 19:00-20:00

場所： Van Cappellen zaal (De Doelen) ファンカペレンザール



オランダを代表する作曲家で、ユルゲン・ファン・ライエンやニュー・トロンボーン・コレクティヴのために多くのトロンボーンのための優れたレパートリーを提供しているマルティン・パディングは、非常に独創的でしかもシビアに考慮された作品の数々で、豪華な作品リストを築き上げてきています。

しかし、いったいどうやってそこまでたどり着けるのでしょうか？ どうやって新しい作品が想起されるのでしょうか？ いつもどんなことに着目していて、どうやって自分独自の作風を生み出していくのでしょうか？ 今のオランダで最も権威ある作曲家たち・作曲教授たちのひとりであるマルティン・パディングが、作曲の何たるかとその方法論を紹介します。加えて、このスライド・ファクトリーのための作曲コンクールの審査員として、応募作品の数々についての解説を行います。

---

### 【作曲バトル&ジャズ・コンサート】

時間： 20:00-23:00

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザール



驚異、斬新、極上、変革。今回のスライド・ファクトリーの目玉であり、このコンサートの主役でもあるトロンボーン・アンサンブルのための作曲コンペティションのベスト5に残った作品を、ニュー・トロンボーン・コレクティヴが初演していきます。2~7本のトロンボーンのために書かれた多くの作品の中から、審査委員会が事前に5作品に絞り込みます。このコンサートで披露されたあと、コンペティション優勝作品が発表されます。また、このコンサートの聴衆は投票を行い、パブリック賞も選出され表彰されます。

休憩後はジャズのコンサートで、オーストラリアのオールマイティ奏者、ジェームス・モリソンが登場し華麗なステージを繰り広げます。彼はオランダの伝統あるジャズ・グループで抜群のリズムセクション、サクソ、トランペット、トロンボーンからなるデ・ハウディーと競演します。ジェームスのこの3つの楽器の演奏はどれもトップ・レベルです。スライド・ファクトリーのミュージシャンたちは、このコンサートのために特別なプログラムを作りあげています

## 4月16日（土）～第3日

### 【ウォームアップ】

時間： 09:00-10:00

場所： Foyer Jurriaanse zaal (De Doelen)  
ユリアーンセザールのロビー



こちらにもフェスティバルの目玉となりつつある、ベン・ファン・ダイクと参加者全員による朝のウォームアップ・セッション。彼の著書「ベンズ・ベーシックス」に基づいて、彼自身が日々のウォームアップで欠かさないルーティンの数々を、参加者のみなさんに至近距離で体感してもらいながら一緒に取り組みます。

### 【フェスティバル・マーケット】

時間： 10:00-18:00

場所： Foyer Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザールのロビー

第2日に続いて、この日はより長い時間にわたって各ブースがオープンします。

### 【クリニック：ラリー・ファレル&ジョン・フェドチョック】

時間： 10:00-11:00

場所： Willem Burger zaal (De Doelen) ヴィレムブルゲルザール

アメリカ・マンハッタンジャズ・シーンをリードして来た、2人の大物によるクリニックです。ラリー・ファレルはジェリー・マリガン、フランク・シナトラ、ボブ・ミンツァー等のビッグバンドでニューヨークを中心に世界中で大活躍してきた実力派。一方のジョン・フェドチョックも自分のバンド“ニューヨーク・ビッグ・バンド”を20年以上に渡り率いている、こちらもニューヨークのジャズ・シーンで活躍するベテラン・トロンボーン奏者。この二人によるクリニックは、ジャズ奏者やファンの期待にこたえるだけでなく、参加者の心をつかみ新しいジャズ・ファンを生むことでしょう。



### 【レッスン】

時間： 10:00-11:00

場所： Van Cappellen zaal (De Doelen) ファンカペレンザール

ご自分の“My 楽器”を持参して、ニュー・トロンボーン・コレクティブのメンバーら世界のプロフェッショナルたちのレッスンを受けましょう。これらレッスンは、すべてのレベルと年齢が対象ですから、気負わずにのびのびと参加してください。

レッスンは、個人レッスン、アンサンブル・コーチング、先生と一緒に吹くセッションの3つがあります。

一日券またはフェスティバル・パスで受講できます。オンラインでこれらのチケットを申し込むときに、レッスン希望の意志表示をしてください。レッスンへの参加については、現地のフェスティバル・カウンターにて最終的な出願をしていただきます。

### 【ヤング・トロンボーン・コレクティブ・イン・コンサート】

時間： 11:00-11:45

場所： Willem Burger zaal (De Doelen) ユリアーンセザール

オランダの素晴らしい才能を持った若いトロンボーン奏者たちが、ヤング・トロンボーン・コレクティブとして活動しています。前回スライド・ファクトリー2009での大成功以降、ゲルギエフ・フェスティバル2009・2010などでのコンサートなどをはじめとして、継続的に活動しています。2010年6月のオーディションで数人が選ばれ、卒業メンバーたちのポストに新しいヤング・タレントたちが着任しました。



出演アーティスト

Young Trombone Collective

---

### 【カルテット・リレー・アワー】

時間： 11:00-16:00

場所： City Rotterdam ロッテルダム市内

世界各地からのトロンボーン学生たちが集まったチューリッヒ、ハノーファー、ロッテルダムのトロンボーン・クラスは、スライド・ファクトリーが始まる前の週からロッテルダム入りして、マスタークラスの数々に参加し、多くのアンサンブルを組織してリハーサルを重ねます。この時間は、彼らが組んだ多くのトリオやカルテットがストリート・ミュージシャンとして、ロッテルダム市内のあちこちからトロンボーンで音楽を発信します。街中の交差点、店の前や店内、中央駅、市役所、そしてたまに短いストリートライブを敢行してしまいます。市内全体がトロンボーンのサウンドで満たされます。市内に散ったグループはそのままスハウブルク広場に結集し、スライド・ファクトリー・メガ・トロンボーン・クワイヤーと合体して、野外スペクタクル・コンサートでこの日の午後を締めくくります。

出演アーティスト

Trombone Classes from Zürich, Hannover and Rotterdam

---

### 【クリニック：ソルタン・キッス】

時間： 12:00-12:45

場所： Willem Burger zaal (De Doelen) ヴィレムブルゲルザール

晩のガラ・コンサートできっと衝撃のパフォーマンスをみせることでしょう。ムノツィル・プラスのソルタン・キッスによるクリニックです。日本ではおそらくムノツィル・プラスの公演プログラムのパフォーマンスをのみでおなじみの彼の、単独での演奏やこのフェスティバルの豪華ゲストたちとの競演、そして彼一人によるクリニックが開催されることは、日本から参加されるみなさんにとっても新鮮なものになるでしょう。クリニックで最前列に陣取って、彼の演奏の秘密に迫ってください。





## 【ランチ・コンサート：スーパー・トロンボーンズ】

時間： 13:00-14:00

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen)ユリアーンセザール

世界を代表するトロンボーン・カルテットの2つ目は、マンハッタン・ジャズ・オーケストラのトロンボーン・セクション〜ジム・ピュー、ラリー・ファレル、ジョン・フェドチョック、デイヴ・テイラー〜そう、あの「ハロー・ヤング・ラヴァーズ」をはじめとする数々のCDで有名な“スーパー・トロンボーンズ”です。このコンサートでは、世界中のジャズ・ファンを感動と興奮の渦に巻き込んできたその驚きのサウンド、超絶テクニックが存分に楽しめるでしょう。日本では今まで見ることのなかった、スーパー・トロンボーンズの単独コンサートです。

出演アーティスト

Super Trombones: Larry Farrel, John Fedchock, Jim Pugh, David Taylor and Rhythm section

## 【クリニック：ウィナー・ポザウネン（ウィーン・トロンボーンスタイル）】

時間： 14:15-15:00

場所： Willem Burger zaal (De Doelen)ヴィレムブルゲルザール

翌日にコンサートを控えたカルテットのメンバーたちによる、ウィーンのトロンボーンスタイルについてのクリニックです。全ヨーロッパのトロンボーン・フェスティヴァルでこうしたスタイルの比較に焦点が当てられたクリニックは、このスライド・ファクトリーならではかもしれません。



## 【スライドとハープの出会い〜Slide meets Harp】

時間： 15:00-16:00

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen)ユリアーンセザール

トロンボーンとハープ～組み合わせとしては非常にユニークな部類に入るでしょう。しかし、ニッツァン・ハロツとブランド・アッテマの活動は、この2つの楽器の組み合わせによるサウンドの魅力の大きさを証明してきました。ニッツァンはその若かりしころから、ハープ奏者である彼の母親とともにトロンボーンとハープによるデュオとして演奏をしてきました。ブランドとオランダの若きハープ奏者、アストリッド・ハーリングは、バストロンボーンとハープのデュオを結成し、数々の有名な作曲家らの手によって彼らのためのすばらしいレパートリーが作り上げられてきました。アメリカのジャズ・トロンボーン奏者のジム・ピューもハープとのプレイを披露し、またニッツァンとブランドとのぴったり合ったアンサンブルにも挑戦します。さらに、ユルゲン・ファン・ライエンがブランド&アストリッドのデュオに加わって、この組み合わせの未来のレパートリーを開拓します。4人のトップ・トロンボーン奏者たちと彩り鮮やかな女性ハープ奏者が協演する、ユニークで驚きのコンサートです。

出演アーティスト：

Brandt Attema          bastrombone

Astrid Haring   harp

Nitzan Haroz   trombone

Jim Pugh                trombone

Jörgen van Rijen     trombone



## 【リハーサル：スライド・ファクトリー・メガ・トロンボーン・クワイヤーによる野外スペクタクル・コンサート】

時間： 16:00-16:45

場所： Foyer Jurriaanse zaal (De Doelen)  
ユリアーンセザールのロビー

野外スペクタクル・コンサートのリハーサルを、すべての参加者で行います。3月中旬に、このサイト上でみなさんの楽譜がダウンロードできるようになります。



## 【野外スペクタクル・コンサート】

時間： 17:15-

場所： Schouwburgplein Rotterdam  
スハウブルク広場（ロッテルダム市内中心部）

スハウブルク広場で、世界各地から集まったフェスティバル参加者全員で野外スペクタクル・コンサートを行います。スライド・ファクトリー・メガ・トロンボーン・クワイヤーが、このフェスティバルのための特別な新曲を演奏します。街中の人々や家々の窓やバルコニーから覗く人々の注目をメガ・サイズのトロンボーンサウンドに集める、日本ではなかなか体験できない瞬間です。



## 【ガラ・コンサート~New Trombone Collective with Friends】

時間： 20:15-22:30

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen)ユリアーンセザール

このスライド・ファクトリーのホストであるニュー・トロンボーン・コレクティブが全身全霊で作りあげる、フェスティバルのメインイベントのひとつ、ガラ・コンサートです。ゲスト・ソリストたちと協力し、この音楽芸術の際限ない高みへと挑戦する様は、音楽家というよりもまるでアスリートのようなようです。様々な革命がちりばめたプログラムで、トロンボーンのコンサートとは思えない“ショー・タイム”がステージ内外で繰り広げられます！間違いなく、このフェスティバルの数あるイベントの最高潮になるでしょう。

出演アーティスト：

New Trombone Collective  
Zoltan Kiss  
Nils Landgren  
James Morrison  
En anderen



## 4月17日（日）～第4日

### 【ウォームアップ】

時間： 10:00-11:00

場所： Foyer Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザールのロビー

大興奮のガラ・コンサートのあと、きっとみなさんは遅くまでビールを片手にアーティストや世界中の仲間との談笑となったことでしょう。最終日のウォームアップ・セッションは、いつもより1時間遅くスタートしますよ。世界トップレベルのアーティスト（未定）とのウォームアップで、有効なティップスを学び、新しい世界を勉強してください。

### 【NTCの古楽探索】

時間： 11:00-12:00

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen) ユリアーンセザール

ニュー・トロンボーン・コレクティブのメンバーで、（昨年11月に東京でリサイタルを開催するなど）ソリストとしても全世界的に活発に活動するユルゲン・ファン・ライエンは、近年、古楽器奏者としての名声をもオランダ国内外で高めてきています。アムステルダム古楽器スペシャリストたちによるグループ、コンバティメント・コンソートとの協演で、サクバットのレパートリーのなかでも選りすぐりの作品を披露します。ニュー・トロンボーン・コレクティブのメンバーや数人のエキストラとともに、ユルゲンはこのスライド・ファクトリーのためにサクバットを中心としたプログラムを特別に用意しています。このコンサートはニュー・トロンボーン・コレクティブにとって、素晴らしい音楽の数々とその独特に調和された色彩と出会い、そして彼らの今後の新しい活動の指針を示すことでしょう。

出演アーティスト：

New Trombone Collective

Specialists of old music



### 【クリニック：ニッツァン・ハロッツ】

時間： 12:00-12:45

場所： Van Cappellen zaal (De Doelen) ファンカペレンザール

アメリカのメジャー・オーケストラの中でも特に名声高いフィラデルフィア管弦楽団の首席トロンボーン奏者は、若きイスラエル人、ニッツァン・ハロッツが務めています。日本のN響・新田幹男先生の師にあたります。その非常に安定したテクニックだけでなく、デリカシーのある音楽性は人々の心に響くものです。カーティス音楽院でも教鞭をとってきたハロッツ氏のクリニックは、これまで日本ではみられなかったものであると同時に、ヨーロッパの若いタレントたちにどのように作用するのでしょうか。



### 【ウィーン・トロンボーン・カルテット】

時間： 13:00-14:00

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen)ユリアーンセザール

今回の世界を代表するトロンボーン・カルテット・シリーズ。スローカー・カルテット、スーパー・トロンボーンのはじめ、ウィーン・トロンボーン・カルテットの出番です。スライド・ファクトリーは、このコンサートの内容のいっさいを彼らに“お任せ”としました。この“ヴィエナー・ポザウネン・クワルテット”は、ウィーン交響楽団のトロンボーン・セクションです。アンサンブルは1992年に結成されました。ウィーン最高級のアンサンブル演奏に加えて、その音楽スタイル、味、色合いによしされる一時間となるでしょう。

出演アーティスト：

Wiener Posaunen Quartett

Otmar Gaiswinkler

Reinhard Hofbauer

Wolfgang Pfistermüller

Walter Voglmayr



### 【クリニック：金管楽器のための作曲】

時間： 14:00-14:45

場所： Willem Burger zaal (De Doelen)ヴィレムブルゲルザール

日本はもちろん、世界中でその作・編曲が愛され演奏され続けている、今日のオランダを代表する作曲家、ヨハン・デ・メイによる、金管楽器のための作曲をテーマにしたクリニックです。トロンボーンのリポトリートとして有名な“Tボーン・コンチェルト”や、吹奏楽の“指輪物語”“ビッグ・アップル”の耳に残るメロディの数々とともに、ヨハンの作品のもつ独特のサウンドのファンも多いと思います。そのオーケストレーション・楽器の使い方といったテクニックやアイデアを裏付ける、彼の金管楽器についての持論が展開されます。



### 【ファイナル・コンサート～プラスバンド&ニルス・ランドグレン】

時間： 15:00-16:30

場所： Jurriaanse zaal (De Doelen)ユリアーンセザール

過去のSFのオランダ王国海軍軍楽隊、オランダ・ナショナル・ユース吹奏楽団、ロッテルダム・フィルハーモニック・オーケストラに続いて、今回は英国式金管バンドが伴奏オーケストラとして登場です。ニュー・トロンボーン・コレクティブのメンバー、ピエール・フォルダースは指揮者を務める、アムステルダム・プラスは、2010年のオランダ・プラスバンド・チャンピオンシップ(NBK)で準優勝に輝き台風の目になった、いま注目のプラスバンドです。ファンク音楽のスペシャリストであるニルス・ランドグレンが、この第4回スライド・ファクトリーの最後に大きな花火をあげる大役にチャレンジです！

出演アーティスト：

Amsterdam Brass conducted by Pierre Volders

Nils Landgren

Some more Slide Factory solists





## 日本から参加される方々のための参加費用の目安

【たとえば東京からの場合】 ほんの一例です

- ・京成スカイライナー（日暮里～空港第2ビル）往復 4,800円
- ・国際線往復航空券（成田～アムステルダム） 100,000円
- ・アムステルダム・スキポール空港～ロッテルダム中央駅 往復NS（電車）代 21.40EUR
- ・SF2011フェスティバル・パス 115.00EUR
- ・ホステル代（5泊6日＝3月25日～31日、朝食込み） 137.50EUR
- ・食事代（6日分） 100.00EUR
- ・飲み代（4晩分） 30.00EUR

計 150,000 円前後

※上記が可能な限りの最安値というわけではありません！！ここからさらにお得な航空券の発掘、ホステル代の節約（たとえばホームステイ）、大勢を決めるのは航空券代、そして宿泊代でしょう。別項をご参照ください。

それから、当然ですが食事代や飲み代には個人差がありますね。

2年前の前回開催時（2009年）の1ユーロ＝133～135円程度に比べて、2月上旬現在は1ユーロ＝110～112円程度。2割近くも為替レートが好条件（円高）で、このままレートが安定してくれればお得ですね。

現地での出費に備えて、日本で両替されてから渡航されることをお勧めします。オランダでの両替は手数料も高く、レートもよくありません。不安な方はトラベラーズチェックも考えた方がいいかもしれませんが、飛行機代は日本で支払ってから来るわけですから、現金だとしても何千ユーロも持ち歩く必要はないでしょう。

また、航空券は探してみると多くの格安航空券が出てきます。いまのところは8万円台からあり、10万円を切るチケットもまだまだあります。

## フェスティバル参加費用について

フェスティバル参加費用（フェスティバル・パス、”passe-partout”）も3月15日までに申し込みをすると115ユーロ（現在約13,000円）に値下げになります。それ以降の申し込み分は125ユーロです。（日本の人たちのためにこの期限を延長してもらえないか、交渉してみます。）

もっとも、毎年世界で開催されているITF（インターナショナル・トロンボーン・フェスティバル）はたいていの場合、参加費が200ユーロ以上あるいは250ドル以上などが多いですから、このSFは本当に良心的だと思います。

お支払いは、サイト上から銀行振り込みかクレジットカードの2つの方法が指定できます。銀行振込みの場合、日本から送金すると数千円の送金手数料がかかると思われます。クレジットカードが使えない方でどうしてもこの多額の振込手数料を避けたい方は、お申し出いただければこちらで参加料を一時的にたて替えます。その場合はEメールにて、[takashi@slidefactory.nl](mailto:takashi@slidefactory.nl)までご相談ください。

## 航空券について

日本～アムステルダムの格安航空券は、インターネット上のたくさんの航空券ショップが扱っていますので、googleなどで検索して、いろいろと調べてみましょう。

下記のmixiのコミュニティには、見つけた情報を随時寄せていますので、ぜひご覧いただくとともに、役立つ情報はみなさんからもお知らせいただくと、他の参加希望者の方々の役に立ちます。

2月第1週現在、8万7千円台から出ています。今後、この路線の航空券の価格が上がるか下がるかは測りかねますが、もちろん時期が迫ってくると安いものは売り切れてしまいますから、早めにモーションを起こすことが良策です。

## オランダ到着～ロッテルダムのいどうについて

オランダの空の玄関、スキポール空港(Schiphol)について、ごく稀にある入国審査を通過して、荷物を受け取り、到着ロビーを出たら、その建物はNS（オランダの国鉄）へと直結しています。

鉄道の駅の構内のチケット売り場（有人カウンター）で、“One way to Rotterdam Centraal, normal price, please”などと告げると、スキポール駅～ロッテルダム中央駅の片道切符が買えます（10ユーロ前後です）。（往復切符=Return ticket は同日の往復にのみ有効なので、この場合は使えません。）

そのまま Rotterdam Centraal に行く電車（Intercity＝急行電車）を見つけ、エスカレーターで地下のホームに降りて、電車が来たら乗車します。改札などは存在しないので、安心してくださいね。約40分でロッテルダムに到着です。

空港から宿泊場所までのルートや行き方の詳細については、ご要望に応じて出発前によりわかりやすく・より具体的にガイドいたします。ご連絡ください。

## 宿泊場所について

宿泊に関しては、ロッテルダム市内のホテルやホステルが使えます。また、学生の方などさらに節約をしたい場合は、ホームステイが安心です（もちろん学生ではない方も応募可能です）。

ホームステイに関しては、あらかじめホストになってくれる現地人を募集しておきますので、ご希望の方はEメールで、[takashi@slidefactory.nl](mailto:takashi@slidefactory.nl)までその旨ご連絡ください。女性に対しては女性からのオファーを充てるので、心配はいらないと思います。決まったら、スケジュールの交換をし、住所を知らせてもらい、お礼の額を交渉して、日本からのお土産を適当に考えておけばOKです。前回の実績では、4～5泊でたったの数十ユーロのお礼、あるいはタダでいいというケースもありました。

こちらでは留学生がルームシェアをするのが普通ですから、その生活のプチ体験もできますね。

上の項でも書いたとおり、空港から宿泊場所（あるいはホストとの待ち合わせ場所）までの行き方は、希望があればガイド・コーディネートしますので、その旨ご連絡ください。

ホテル・ホステルをご希望の方も、サポートをご希望の方はお気軽にご連絡ください。

## 食べ物・飲み物などについて

ロッテルダムに限らずオランダの食文化は残念ながらあまり高水準とは言えませんが、観光ガイドに載っているような“名物”は街で簡単に見つかります。

フェスティバルの会場は町の中心部に位置しており、中華やスリナムやケバブはじめとする多くのレストランやファストフードもありますが、それ以前に、フェスティバルのスケジュールをみるとなかなか悠長に食事をしている時間が無いケースもあり得そうです。あらかじめスーパーでパン・チーズ・ハム・ジャムや飲み物などを買ってサンドイッチを作っておいたり、コンビニのような店で手軽な調理品を買っておいたりして持ち歩くなどの方法が有効でしょう。

夜のコンサート後のパーティには、ぜひ積極的に参加しましょう。オランダやベルギーのビールを楽しみながら、アーティストや世界中からの参加者と談笑しましょう。アーティストたちからビールの勧めがあった時は、遠慮なくごちそうになってしまってください。

## フェスティバル期間前後のコンサートなどの情報

4/10 (日) ロイヤル・コンセルトヘボウ・オーケストラ フランク：二短調ほか  
4/10 (日) ハーグ・フィルハーモニック・オーケストラ ヘンデル：水上の音楽ほか、バロックプログラム  
4/13 (水) ロッテルダム・フィルハーモニック・オーケストラ シベリウス：シンフォニー4番ほか  
4/20 (水) ハーグ・フィルハーモニック・オーケストラ ラヴェル：ボレロほか、スペインプログラム

この時期は多くのオーケストラがマタイ・パッション（バッハ）を取り上げていて、“トロンボーン・ピース”は少ないですね…。残念。

## mixi のコミュニティに参加して情報交換！



私だけでなく、他の参加者・参加希望者のみなさんと情報交換できる場になっています。格安航空券、宿泊場所（ホテル、ホステル、ホームステイなど）などについて、よりリアルタイムに情報が交換できます。mixi にアカウントをお持ちの方は、ぜひコミュニティ

[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=3976593](http://mixi.jp/view_community.pl?id=3976593)

に参加されてみてはいかがでしょうか？

## CONTACT

<http://www.slidefactory.nl/>  
[info@slidefactory.nl](mailto:info@slidefactory.nl)

<http://www.takashibro.com/>  
[takashi@slidefactory.nl](mailto:takashi@slidefactory.nl)

品川隆（しながわたかし）

みなさんと4月にオランダでお会いし、感動的な時間をご一緒できること、そしてそれをきっかけに音楽と人を結ぶ輪が広がっていくことを、楽しみにしています！